

ぶどうの樹だより

vol.01
2018.11.1

NEWS LETTER

ぶどうの樹キリスト教会

「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが「ぶどうの樹キリスト教会」の名前の由来です。イエス・キリストが「ぶどうの木」で、私たちは「ぶどうの枝」。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合
宗教学人「ぶどうの樹キリスト教会」

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？

私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。

「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいます。そのような皆さんに、イエス・キリストがどういう方であるか、少しでも知って頂きたい、お便りを出しています。



ぶどうの樹キリスト教会
牧師 三木 新

「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。

わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

新約聖書 マタイの福音書 11章 28～30節

イエス様は、「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい」と仰いました。教会の門を叩くには躊躇するかもしれませんが、このイエス様の言葉を聞いてください。

イエス様は約2000年前の人で、十字架に架かって死にました。しかし、3日目によみがえられ、今は天の父なる神様の右に座して、生きておられます。当時、イエス様のもとにはたくさんの「病気を抱えた人」、「周囲からつまはじきにされた人」、「罪人」と呼ばれる人たちが集っていました。神の御姿であるお方は、人間を分け隔てなく愛して下さり、今も愛して下さっています。地上にある教会は、その神の愛によって「互いに愛し合うよう」心がけていますが、それでも「欠け」があり、「歪み」があり、「不十分さ」があり、ときに周囲の人たちを傷つけ、躓かせることが確かにあります。でも、イエス様は違います。イエス様は、自分のところに来たならば、本当の意味で「休ませてあげよう」と仰っているのです。

皆さんの中に、疲れを覚えている人、重荷を負っている人はいませんか？ほんとうの意味で「たましいに安らぎ」を得たいと思っっている方はいませんか？このイエス様の言葉に触れて、少しでも興味を持った、心に留まったりしたならば、考えてみてください。疲れを自分でリフレッシュして取り切れるならば、それでよし。重荷を自分の力で降ろせるならば、それで結構です。でも、他の誰にもなかなか言えず「疲れ」が取れない、「重荷」が取れないと思われるなら、このイエス様のもとを訪ねてみてください。

疲れが完全に癒され、重荷が全く無くなる、というような「まじない」や「奇蹟」が起きるとは、決して言いません。「イエス様のもとに行ったら身体の疲れが取れた」とか「癌が治った」とかそういうことを私たちは主張しません。そういうこともあるいはあるかもしれませんが(天地をお造りになられた神様は全能です)、イエス様は「わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい」と言っています。「そうすれば、たましいに安らぎが来ます」と言っています。教会では、このイエス様のことを中心、神のことばである「聖書」に聞いて、学び、私たちは「たましいに安らぎ」を頂いています。「身体の健康」や「この世の安全」もちろん大切ですが、「たましいの安らぎ」が一番大切だとは思いませんか？イエス・キリストについて少しでも興味をお持ちいただけたら幸いです。